

# 目次

● はじめに	.....	3	
● ポイントその①	【建物】	.....	5
↳ モデルハウスを見る時のおはなし			
↳ 見学会のお知らせがきた時のおはなし			
● ポイントその②	【人】	.....	16
↳ 営業マンの話を聞く時のおはなし			
● ポイントその③	【会社】	.....	22
↳ 建てる会社に入った時のおはなし			
↳ 建築事務所に行こうと思った時のおはなし			
↳ 信用できない業者を見分ける4つの法則			

●ポイントその④ 【構造】 .....

↳わかりやすい構造のおはなし

↳環境と自然に配慮した家づくりの方法

●ポイントその⑤ 【資金】 .....

↳予算をたてる時のおはなし

↳建築事務所に行こうと思った時のおはなし

●ポイントその⑥ 【打合せ】 .....

↳上手に打合せする時のおはなし

↳間取りで失敗しない法則

↳照明・インテリアのこばなし

●お客さまからの暖かいメッセージとともに .....

# はじめに

家を建てる。それは家族全員でアイデアを出し合い、

ワクワクとした楽しい時を過ごす貴重な機会です。

家は単なる箱ではありません。人が暮らし生活を営むよりどころであり、心や体を休める安らぎの場です。

そこで暮らすご家族のライフスタイルや生活パターン、美意識や価値観が住まいの隅々にまで反映されてこそ本当に住み心地のいい家可以实现できるので

他のご家族にとっての快適な住まいが、あなたのご家族にとっても快適であるとは限りません。

あなたのご家族にとって本当に快適な住まいとは、どんな家でしょうか？

それを考えて頂くためのヒントを、この本で簡単にご紹介してみました。

この本をご参考にぜひご家族みんなで自分たちの住まいについてじっくり考えてみてください。

そして、計画から完成までの家づくりのすべてのプロセスを楽しんでください。

あなたのご家族にとって忘れる事の出来ない、貴重な体験になりますように。

ポイントその①

## 【建物】

くモデルハウスを見る時のおはなしく

モデルハウスに惑わされていませんか？

家を建てると思った人のほとんどが、同じ行動をとります。「よし、まずモデルハウスだな」と。住宅公園に行き、住宅メーカーのモデルハウスを見学するのです。

プロの営業マンでさえ、自宅を建てる時は見学に行く人は少なくありません。モデルハウスは、その会社がどんな家を建てるのかを知るよい手がかりですし、自分の夢を具体化するには利用すべきだと私は思います。

ところが、初めて家を建てる人は、外観のデザインやキッチンなどの設備に目がいつて、必ずといっていいほど犯してしまう失敗があります。それは、“肝心なところ”を見落とすということです。

モデルハウスに惑わされないために、五つのポイントについて記します。

## 1 広くて大きな玄関のワケ

玄関に入るとすぐに「ワァー広い！」と思われるはずです。当たり前です。広く作ってあるのですから。

一般の家庭では、玄関は、大きくても二メートル×二メートルくらい。それに対してモデルハウスの玄関は、大勢のお客さんが来ても、接客しやすいように大きく広く作ってあるのです。

間違っても「こんな玄関になるのね」などと思っではいけません。

最初に見る場所というのは脳裏に強く焼き付きます。モデルハウスと言えど、自分の未来の生活を見に来ている事を忘れてはいけません。

その場所の必要性を正しく理解すれば、はじめて見る景色も冷静に考える事が出来るはずです。

## 2 広く感じさせるテクニックにだまされてはいけません

モデルハウスにはいくつかのテクニックが使われています。